

## ティーチング・ステートメント

所属 薬学部 薬学科

名前 立浪 良介

作成日 2024年2月26日

### 【責任】

公衆衛生学分野に所属し、衛生薬学に関する講義科目として、公衆衛生学 I、毒性学 II、環境科学 I を担当している。実習科目としては、衛生・医療薬学実習、介護福祉体験実習、早期臨床体験実習を担当している。教育に関わる他の活動として、学生に対する卒業研究指導や就職指導に携わっている。

### 【理念】

薬学部では、ファーマシューティカル・ケアの実践、すなわち患者の健康や生活の質の向上に寄与する薬剤師の養成を図ることを目的としている。北海道という地域において、過疎地医療という問題は避けては通れない課題である。医療スタッフの不足している地域で活躍できる薬剤師を輩出するために、地域の病院・薬局と密接な関係を築きその地域で働いてみたいと思えるような情報を提供したい。

現在、自分は公衆衛生学分野に所属している。公衆衛生とは、国民の生活を衛るための健康や環境に直結する学問分野である。一人でも多くの学生が、このような問題に関心を持ち自ら学ぶ意思を持って問題解決の能力を醸成してほしい。そのことが薬剤師としての能力向上や仕事の達成感を得ることに繋がると思う。

### 【方針・方法】

上記の理念を実現するために、下記に示す4つの方針に従って学生の知識・技能の定着を図るための教育を実践しています。

#### 方針 1

学生が自学しやすい環境を整える

- ・特別な教材を用意するのではなく、教科書中心の授業形態として学生がいつでも自学自習できるような環境を整え、かつ不明な点を質問（対面、メール等）しやすい雰囲気づくりを心がける。

## 方針 2

リアルタイムの講義を重視して、学生の集中力を高める

- ・講義での説明事項は板書を中心として、学生が授業時間内で内容を理解できるように努める。学生の自学自習用には演習問題を利用した学習を中心とする。

## 方針 3

短期間での知識の定着を図る

- ・学生の知識の定着を確実なものとするために、講義ごとの問題演習や定期的な小テストを実施する。
- ・定期試験問題と日頃の演習問題の関連性を吟味して、問題演習に真摯に取り組んだ学生が解答できる試験問題を作成する。その際、記述式問題なども取り入れて、演習問題の解答暗記では対応できない問題作成を心掛ける。

## 方針 4

学びを単なる暗記にとらえさせない

- ・学問を単なる暗記にとらえさせないために、講義での説明は可能な限り身近な現象と関連付ける。
- ・学生の興味を引く内容であれば、教科書で取り上げられていない最新のトピックについても取り上げる。

## 【成果・評価】

- ・これまでの授業評価アンケートにおいて、多くの学生から概ね高評価を受けている。

- ・担当する卒業研究の一部は、学生自身の学会発表に繋がり、その後に研究論文として発信されている。

- ・担当する卒業研究グループの国家試験合格率は、平均 90%程度を維持している。

## 【目標】

### 長期目標

- ・社会に貢献できる問題解決能力を身につけた薬剤師の養成を目指す。

### 短期目標

- ・上述した方針・方法に従って、学生に自ら学ぶ楽しさを実感してもらい講義に対する満足度を上げる（2024 年度）

- ・学部の国家試験合格率を上げるために、卒業研究指導学生の全員合格を目指す（2024 年度）